

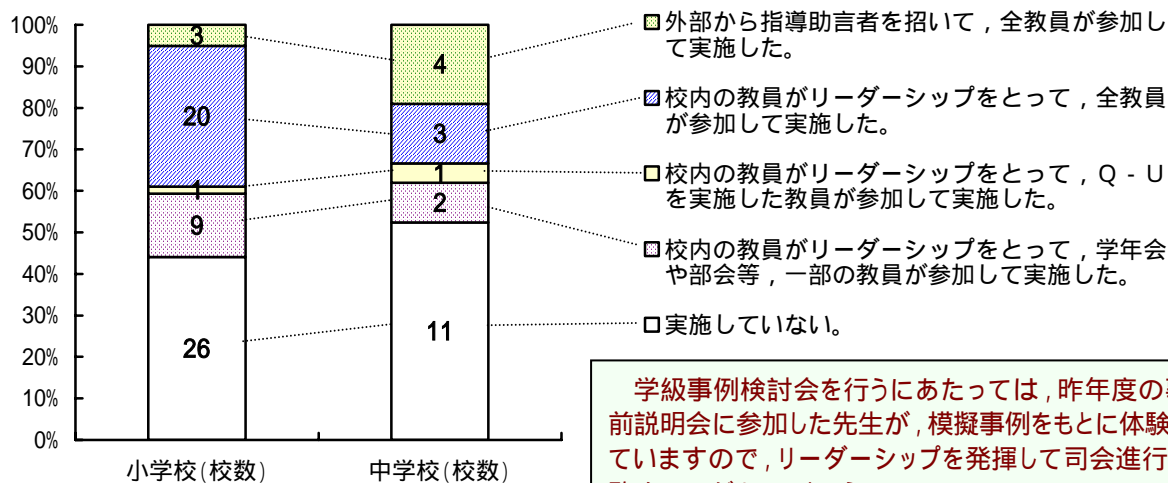
Q - Uの結果検討は、ちょっと勇気を出して複数の目で

平成17年度「本市 Q - U活用に関する実態調査」結果報告

Q - Uの結果で、だれがどの群に属しているかを見るだけでは、十分に活用しているとは言えません。本年度は、各学校で“学級事例検討会”を実施し、Q - Uの活用術をしっかりと身につけてください。「なるほど、確かにQ - Uは使える！」と実感できるはずですよ。

学級事例検討会の実施状況

学級事例検討会とは、ある学級のプロット図をもとに、時間をかけて、皆でじっくりと検討する会のことです。事例を提供する先生は、ちょっと勇気が要りますが、多くの先生方から意見を得ることにより、自分が担任している学級集団の状態や、自身の学級経営の特徴、今後の学級経営の在り方等について考えるよい機会になります。参加した他の先生方にとっても、自分の学級を思い浮かべながら検討できるところに大きな意味があります。



8月末実施の「Q - U活用研修」及び「学校教育相談基礎研修・第4日」では、事例検討を実際に行います。

学級事例検討会を行うにあたっては、昨年度の事前説明会に参加した先生が、模擬事例をもとに体験していますので、リーダーシップを發揮して司会進行を務めるのがよいでしょう。

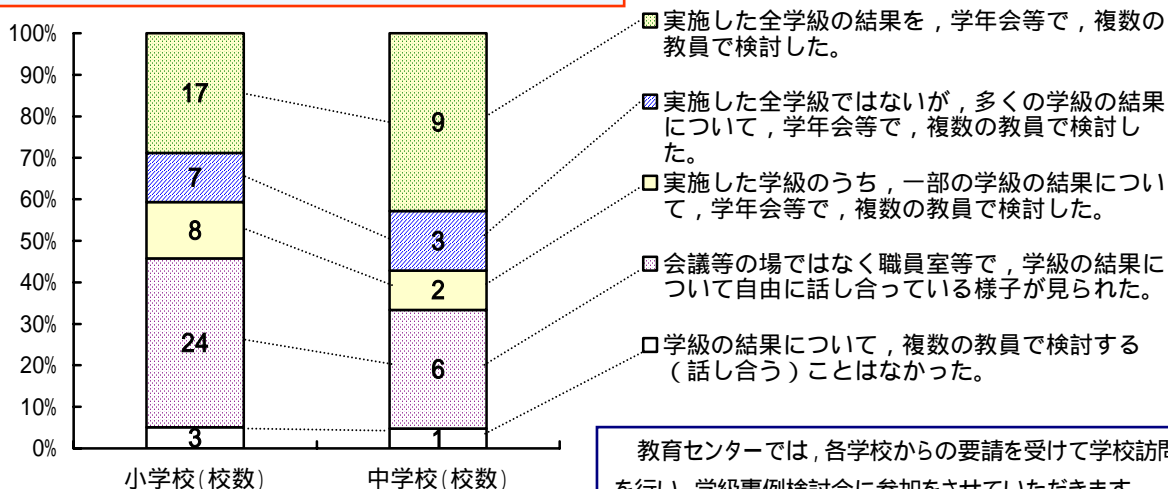
同時送付の本紙第13号に、会の進め方をあらためて掲載しましたので参考にしてください。

まずは、より手軽な話し合いから始めてみましょう。

学級事例検討会を実施するにあたっては、各学級担任の先生方が、日ごろから自分の学級をオープンにし、give & takeの精神でお互いに協力し合って学級経営を行うことに慣れていることが欠かせない要件となります。

そこで、まず手始めとして、よりざっくばらんにお互いの結果を示し合い、検討会の流れを意識し過ぎずに、自由に話し合うような場を持つのがよいでしょう。この場合は、学年会や学年混成の数名～10名程度のグループが望ましく、数回にわたって、全学級についてひと通り話し合うようにします。

学級事例検討会の流れによらない検討会の実施状況



教育センターでは、各学校からの要請を受けて学校訪問を行い、学級事例検討会に参加をさせていただきます。